

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00164952

2023年10月25日

発信課	議会事務局議会総務課
担当者	飛田, 田村
連絡先	電話 0166-25-6380
	FAX 0166-24-7810
	E-mail gikai_somu@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
日程	令和5年11月18日14時00分 ~ 令和5年11月29日 16時00分
発表項目 (行事名)	令和5年度市民と議会の意見交換会の開催について
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<ol style="list-style-type: none"> 開催目的 市民との意見交換を通じて、議会活動及び市政に対する意見や提言等を聴取し、議会の政策形成に市民意思を反映させていくことを目指します。 各会場の担当 各常任委員会委員を班員とする4つの班が担当します。 テーマ、開催日時及び場所 テーマ、開催日時及び場所等については、各班が個別に設定しました。詳細は、別紙チラシのとおりです。
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道(取材)に当 たってのお願い	
備考	

令和5年度 旭川市議会 市民と議会の意見交換会

市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、意見交換会を開催します。

11月18日(土)

民生班

14:00～16:00



ゼロカーボンシティの実現に向けた今後の取り組みを考える

～家庭ごみ等の減量化など、小さなことからでも出来る地球温暖化対策について～

会場:旭川市立大学 北辰会館2階
第1会議室(永山3条23丁目)

11月20日(月)

子育て文教班

14:00～16:00



旭川市民文化会館の建て替え

～文化活動の広がりを目指して～

会場:旭川市民文化会館
2階第2会議室(7条通9丁目)

11月28日(火)

総務班

14:00～16:00



新庁舎の市民の利活用について

会場:市役所新庁舎8階
(7条通9丁目)

11月29日(水)

経済建設班

14:00～16:00



わくわくする公園の未来

～利用しやすい公園に向けて～

会場:市役所新庁舎8階
(7条通9丁目)

※テーマ説明は裏面に掲載しております。

旭川市キャラクター
ゆきりん



ぜひ、皆様の声をお聴かせください!

これからの旭川を一緒に考えましょう!

旭川市シンボルキャラクター
あまびい



<意見交換会の参加について>

旭川市議会

検索

- 参加を希望される方は直接会場へお越しください。
- 入場は無料です。(駐車料金が必要な場合は、各自でご負担願います。)
- 託児・手話通訳を希望される方は、開催日の1週間前までに下記までご連絡ください。

<連絡先> 旭川市議会事務局(広聴広報委員会) Tel 25-6380/Fax 24-7810



裏面もご覧ください

○各班のテーマ説明

11月18日(土)
14:00～16:00

民生班



ゼロカーボンシティの実現に向けた今後の取り組みを考える

～家庭ごみ等の減量化など、小さなことからでも出来る地球温暖化対策について～

地球温暖化による気候変動は、異常気象の原因となり自然災害の激甚化をはじめ、大きな問題となっています。市民生活においても注目される課題であり、日常生活において、CO2の排出を減らすために何ができるのか？市民の皆様と意見交換をさせて頂きたいと考えています。

11月20日(月)
14:00～16:00

子育て文教班



旭川市民文化会館の建て替え

～文化活動の広がりを目指して～

今後、旭川市では市民文化会館の建て替えについての議論が行われます。そこで、旭川市の文化活動をふまえた市民の皆さまのご意見を伺いたいと思います。

11月28日(火)
14:00～16:00

総務班



新庁舎の市民の利活用について

旭川市役所は、いよいよ本年11月に新庁舎の開庁を予定しています。

その利活用について、各フロアなどのハード面や、総合窓口の流れ、今後の展望等のソフト面についても共有し、市民の皆様からも広く意見を聞く機会とさせていただきます。

11月29日(水)
14:00～16:00

経済建設班



わくわくする公園の未来

～利用しやすい公園に向けて～

旭川市内には、常磐公園、春光台公園、神楽岡公園などの都市公園の他に、数々の児童公園もあります。近年は、遊具等の維持管理費の増大も課題となっています。

どうすれば、わくわくする公園を次の世代に手渡すことができるのか、ご一緒に考えてみませんか。